

平成 29 年度 静岡県養護教諭冬季研修会  
午前の部 「養護教諭に必要とされるダイバーシティ・マネジメントの力」  
～チーム作りの本質とは～

静岡大学教育学部教授 鎌塚 優子 氏

## 1 「チーム学校」を実現するための3つの視点

- (1) 専門性に基づくチーム体制
- (2) 学校のマネジメント機能の強化
- (3) 教職員一人一人が力を発揮できる環境の整備  
(文部科学省：チーム学校の在り方と今後の改善方策について（答申）  
中央審議会平成 27 年 12 月 21 日より)

子どもを取り巻く諸問題の増加

教職員だけでは対応が困難

一人一人の子どもの状況に応じた教育を実現させるには、「チーム学校」として職務を担う体制を整備する。

## 2 ダイバーシティ・マネジメントについて

チーム学校の実現のために大切なこと⇒ ダイバーシティを意識すること

- (1) ダイバーシティとは⇒ **多様性**  
「幅広く性質の異なるものが存在すること」
- (2) 組織でのダイバーシティとは⇒「多様な人材を活かす戦略」
  - ・さまざまな違いを尊重して受け入れ、「違い」を積極的に活かすこと。
  - ・変化する環境やニーズに、最も効果的に対応し、組織の優先性を創りあげること。
- (3) ダイバーシティの課題
  - ・あらゆる異質の要素がトラブルの原因となり、まさつや葛藤を引き起こしてしまう。
  - ・ダイバーシティ推進を阻害するものとは…



### 偏見

バイアス

- ・偏った見方や考え方。  
⇒客観的ではなく、  
根拠に基づかない判断。

### 無意識の偏見

アンコンシャス・バイアス

- ・自分自身が気付かずに持っている偏った見方や考え方。



## 3 様々な違いを受け入れる感性・風土

- (1) 無意識の偏見が、組織や個人へネガティブな影響を与える。
- (2) 偏見は日常的に言動となって現れ、職場の人間関係や組織の活力を悪化させてしまう。
- (3) 自分自身の持つ無意識の偏見に気付くこと。そして偏見についての正しい知識を身に付け、意識して適切な行動を取る。

## 4 多様性の最前線にある保健室

### ダイバーシティがなぜ求められるのか

- ・様々な違いを尊重して受け入れ、「違い」を積極的に活かす能力が備わっている。
- ・変化する学校環境や多様化する保護者、児童生徒、社会のニーズに最も効果的に対応できる感性を醸成することができる。

「チーム学校」として一人一人の子どもの状況に応じた教育を実現するために

- (1) 情報共有・意思決定の過程の明確化
- (2) 「違い」「強み」につなげるコミュニケーションの活性化、風土、文化づくり
- (3) 多様な人材資源とコミュニケーションを通じた成果の発信

専門職としての発言の質、伝え方・発信・マナーが問われる

ビジネスマナーは多様な価値・考えの集まりである組織・外部機関との連携に必要な要素であり、その価値・考えをつなぐ共通語である。